

09年度予算教書、USPTOは対前年度比8.3%増の20.75億ドルを要求

2008年2月4日
JETRO NY 澤井、中山

本日、09年度(08年10月～09年9月)の大統領予算教書¹が議会に提出された。同教書によれば、USPTOの09年度予算要求額は、20.75億ドル(約2,200億円)と、はじめて20億ドルを突破した²。08年度予算額³(19.16億ドル)に比べ8.3%増となり、昨年度の8.2%増と同水準の高い伸び率を維持している。

また、USPTOの発表⁴によれば、09年度要求においても、USPTOの料金収入について、全額留保を求めており、かかる要求は05年度以降5年連続となっている(過去4回はいずれも議会により認められている)。全額留保は、産業界からの要請に応えるもの。かねてより米産業界は、料金収入の一部を他の政府予算に流用する料金ダイバージョンを「隠れたイノベーション税」として、強く反発してきた経緯があり、全額留保はこれを防止するための措置。

また、USPTOでは07年度には1,215名の特許審査官を採用し、08年度も同規模の採用を進めているところ⁵。USPTOの発表によると、09年度も1,200名規模の新規採用を計画している。

<参考>USPTO歳出予算額推移

(単位:百万ドル)

	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
予算額	1,222	1,555	1,683	1,771	1,916	(2,075)

(注)05年度以降は料金改定後の現行手数料が反映されたもの。09年度は現時点の要求額。

(了)

¹ 予算教書とは、米大統領が議会に示す予算の編成方針。一般教書、大統領経済報告と並び「3大教書」と呼ばれ、毎年2月初めに議会に提出される。(日本国外務省ホームページより) <http://www.whitehouse.gov/infocus/budget/2009/>

² <http://www.whitehouse.gov/omb/budget/fy2009/pdf/budget/commerce.pdf>

³ 2007年12月28日付け知財ニュース「USPTO2008年度予算が成立」を参照

⁴ <http://www.uspto.gov/web/offices/com/speeches/08-06.htm>

⁵ 2007年2月5日付け知財ニュース「08年度予算教書、USPTOは対前年度比8.2%増の2,300億円を要求」を参照